

議会だより

定例会

令和2年第4回定例会は12月11日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■調査期日…10月23日
■調査事項…中学校の経営状況について

■調査結果…指摘事項なし

■調査期日…11月12日

■調査事項…商工振興対策について

■調査結果…指摘事項なし

■調査期日…11月30日

■調査事項…社会教育事業及び社会体育施設指定管理の状況について

■調査結果…指摘事項なし

■まちづくり等調査特別委員会
令和2年10月23日、11月12日に行った調査事項についての中間報告

諮問

○人権擁護委員の候補者の推薦について
瀬戸 照代 氏(再)

原案可決

○北竜町役場の位置を定める条例の制定について

○令和2年度北竜町一般会計補正予算(第9号)について
・規定予算に129,047千円を追加し、予算総額を4,014,683千円とする補正予算

○令和2年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
・規定予算に7,225千円を追加し、予算総額を335,204千円とする補正予算

○令和2年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第3号)について

・規定予算から70千円を減額し、予算総額を102,341千円とする補正予算

○令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
・規定予算から658千円を減額し、予算総額を37,970千円とする補正予算

○令和2年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第2号)について
・規定予算から3,337千円を減額し、予算総額を332,778千円とする補正予算

○令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第4号)について
・規定予算から15,545千円を減額し、予算総額を457,815千円とする補正予算

○令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第3号)について
・規定予算に15千円を追加し、予算総額を114,209千円とする補正予算

○令和2年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第4号)について
・収益的収入で49千円を追加し、総額を70,460千円とする。収益的支出で183千円を減額し、78,223千円とする。

○令和2年度北竜町一般会計補正予算(第10号)について
・規定予算に2,400千円を追加し、予算総額を4,017,083千円とする補正予算

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○コロナ禍による地域経済対策を求める意見書



一般質問

12月11日に開会された第4回定例会では、4名の議員から4件の一般質問がありました。



藤井議員

北竜町の観光について

藤井議員

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、多くのイベントが中止となり、特に観光客を呼べる「ひまわりまつり」の中止は大きな痛手となった。観光客を多く集められるように、ひまわりの里以外でも集客できるキャンプ場やオートキャンプ場の新設等の考えがあるか伺いたい。

佐野町長

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、あらゆる行事を自粛し「ひまわりまつり」も「町民の命を守ること」を最優先に中止とした。

そんな中、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、ひまわりの里の整備や土作りを行

して直売所、パークゴルフ場、ひまわりの里等と連携して集客が期待できる。

ひまわりの里以外の案があれば聞かせてほしい。また、先に計画の説明があった旧工コープ跡地利用についてお聞かせ願いたい。

佐野町長

本町の観光の集客はひまわりの里である。いい花を咲かせて多くの人に見てもらおう施策を講じていきたい。更には、「ひまわりまつり」は夏の一か月であるので、降雪まで、あるいは冬期間も観光地となるよう整備していきたい。

南波企画振興課長

旧工コープ跡地については、再検討中ではあるが、職員間でもいくつかの案が出てきている。来年度計画設計し、再来年度には整備したいと考えている。

藤井議員

ひまわりの里は、五月から播種作業が始まる。オープンする・しないは、早い段階での判断が必要である。二年間休園となると観光地として大打撃を受けるので、内外の十分な対策を講じてオープンし

てほしい。

また、北空知圏の観光連携での集客が言われるが、距離もあり公共交通機関が不便である。定期的に北空知圏周遊のバスなどの整備を要望する。

佐野町長

来年度は感染対策を講じて、「ひまわりまつり」を実施するよう観光大使の指導を



松永議員

令和3年度の政策と財源確保について

松永議員

令和3年度に向けて
①ひまわりの里基本計画
②地域公共交通
③保育士雇い止めについて
の3項目について伺いたい。

①ひまわりの里基本計画の策定書が手渡されたと思うがその内容に対して理事者の考えに変更はあるのか。また、建設経費が14億円と示されたが、4月より始まる新過疎法による影響も含め、計画通り財源を確保できるのか。

受けながら準備を進めている。今年は例年以上に土作りも行い、排水で分断されていた展望台の圃場も一面に改良したので多くの観光客に感動を与える「ひまわりまつり」になるよう努力していく。

北空知圏連携については、北空知圏振興協議会の各市町と協議していきたい。

佐野町長

観光客の増加や農産物販売の拡大、移住定住の促進等を図る為、今後10年間をかけた、町民や各団体の理解を得た上で本計画により整備を行っていききたい。財源については5割を地方創生拠点整備交付金、残りは起債や民間資金で対応し、町費を抑制する方向で、関係機関と協議の上、計画的に事業を推進していきたい。尚、新過疎法による過疎債の利用については本町には影響がないものと認識している。



松永議員

協議する関係機関とは何処なのか。また、14億円もかける意味はあるのか。

佐野町長

新型コロナウイルスの影響で未だ行っていないが、各町内会を通して町民に向け計画内容の説明を行い、都度理解を得ていきたいと考えている。また財源については「クラウドファンディング」や「企業版ふるさと納税」も活用し整備を進めることによって、ひまわりライスははじめとする本町の農産物の更なる販売促進、移住定住促進に繋がると考えている。

松永議員

②「北竜町地域公共交通再編実施計画」策定の進捗状況と移動困難な高齢者の利用についての考え方を伺いたい。

佐野町長

これまで3回開催された協議会での、町民アンケートの結果や現状と課題の報告を基に、来年1月開催予定の協議会や議会の全員協議会等で素案を提示し意見聴取を行い、3月の計画策定を予定している。内容は、中央バスの路線

廃止予定に伴う滝川北竜線の代替交通や地域公共交通対策事業の見直し等の予定。

松永議員

以前から要望しているが、スクールバスの兼ね合いなのか、乗合タクシーを利用できない時間帯が碧水・美葉牛方面で存在している。町に行くには徒歩にてバス停まで行くため不便であり、和方面とは不公平を感じるが改善されるのか。

佐野町長

スクールバスや乗合タクシーは国からの補助対象であり、運行については常に公共交通会議で協議し認定を受けている。

南波企画振興課長

滝川北竜線の廃止後の影響を前提に計画をし、地域公共交通の運行の改善等も含め策定、検討していきたい。

松永議員

③保育士の雇い止めの件に進展はあるのか。また、保育園を町営とし保育士も町職員としてはどうか。

佐野町長

報道の経過については、現在動きはない。また、保育園の運営については、人件費や運営費用を抑えるため社会福祉協議会に委託しており、現在も支障なく運営されておりこの状況を維持したい。



尾崎議員

コロナ禍からの新しいひまわりの里を考える

尾崎議員

2カ年5回に渡ったの有識者・専門家を交えた「ひまわりの里基本計画」策定委員会が10月で終了し、訪れる人が感動を味わえる自然と一体化

したデザインが提案された。しかしこの時期に合わせたように多大なダメージをもたらしているコロナ感染症の拡大。観光面で集客を目指す時代から次の時代に視点を切り

替える必要があるのではないかと思う。現在感染拡大途上で今後の展望を語るのには難しいが、不確定である財政面・人材面等しつかりと準備が必要かと考える。

●今後の観光をどのように予測するか。

●町民が特に不安視する財政面での工夫説明。

●人材の募集(補充)はどのように準備するか。

理事者の考え、具体的な施策があれば伺いたい。

佐野町長

これまで以上に魅力のある「ひまわりのまち北竜町」を目指し、観光客の増加をはじめとして農産物の販路拡大、雇用の促進や移住定住を推進し、北竜町の未来への発展の可能性を創造しなければならぬと考えている。

不安視する財政面については国や道の財源、ふるさと納税の確保、また、持続的な運営を行う独自財源(入場料等)を検討して行きたいと考えている。人材面では観光を専門的に担う地域おこし協力隊員の募集を計画しており、専任の体制作りを進めたい。

尾崎議員

人材面で移住定住の受け入れ側の備えだが、昨年6月定例会一般質問の中で人材を発掘できず去らせてしまったことに対して『希望や意見を十分に聴き取ることが出来なかった』との答弁であったが、人材発掘は求める側の能力を求められることも自覚し、町側からの対策の負荷を掛け過ぎず、何より希望を失わせないことを最重要に取り組んでいただきたい。

また、離農に伴う家屋の解体条件がある様だが、このことについて行政側の介入はどの程度出来るのか。

佐野町長

移住者に対して、住みやすい環境づくりは心がけているつもりではあるが、個々の人との関係の中で考えられないこともあったかと思う。せつかく身につけた技術が無駄にしないよう今後しっかりと努めたい。

農地売買に関わる住居は、売買双方の話し合いの中で決めていたが、今後必要に応じて農地を担当する職員が入ることも考えたい。



佐々木議員

令和3年度の 予算編成について

佐々木議員

来年度の予算編成について伺う。

①予算編成のスケジュールの明示をすべきでは。

②決算議会（9月定例）における決算意見の反映は。

③各定例会における一般質問・質疑の反映は。

④行政懇談会中止における町民の意見の反映は。

⑤商工会、土地改良区、JA、建設協会、教育委員会、農協協議会等各種団体、委員会の意見の反映は。

⑥行財政改革推進委員会、公施設再配置計画等の反映は。

佐野町長

令和3年度の予算編成においては、新型コロナウイルス

の世界的な感染拡大により、収束の見通しが立たず依然として厳しい状況にある。本町

においても感染状況の見通し

や国の令和3年度政府予算案

の動向などの不確定要素が多い中で「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」に取り組んでいく必要がある。

具体的な日程としては、10月初旬に予算編成方針と留意点を各課に通知し、予算要望の集約は11月20日に終了して

いる。今後は、新北竜町総合計画並びに第1期実施計画の効果的な推進等や国の施策との関係、特定財源の有無などの観点から事業の精査を行う

い、政策的な優先度が高いものに重点的に予算の配分を行い、副町長査定については12月中旬から1月中旬、町長査定は1月末に終了することとして

している。予算確定は2月上旬、予算書は2月20日頃を目処に、議会3月定例会へ予算案として提出することとして

進めている。

なお、決算議会や各定例会におけるご意見については、

その優先度、重要性において検討・実施しているところでありますが、町行政懇談会はコロナ禍により延期しているため、町内会長会議等を経てご意見の集約を図ってまいります。

又、町内各団体においては、要請書による協議をはじめ、団体長会議において定期的に意見交換し事業に反映させており、行財政改革推進委員会や公施設再配置計画検討委員会などの検討事項については、限られた財源を効果的に配分するため、各種計画と整合を図るとともに、将来の財政負担や、より良い住民サービスの安定確保に配慮しながら進めていきたい。

活動報告

【1月】

1日…各神社元旦祭

6日…御用始め

8日…出初め式

9日…成人式

12日…交通事故死ゼロ5, 0

00日達成警察署表彰式

活動予定

【2月】

4日…交通事故死ゼロ5, 0

00日達成知事表彰式

4~10日…令和2年度定期監査（監査委員）

9日…令和3年第1回北海道

後期高齢者医療広域連合定例会

会

11日…真龍神社建国祭

16日…令和3年第1回空知町

村議会議長会総会

18日…北海道町村議会議長会

理事会

19日…北竜町商工会法制化60

周年記念式典

26日…北海道監査委員協議会

定期大会（監査委員）、中・

北空知廃棄物広域連合議会

（松永議員）

下旬…総務産業常任委員会、

例月出納検査（監査委員）

22日…全員協議会、総務産業常任委員会

25日…空知町村議会議長会役員会

員会

26日…例月出納検査（監査委員）



議事

コラム

北竜町地域公共交通の問題について、先日、総務産業常任委員会にて町外路線と町内路線の現状と取り組みについて説明がなされた。

説明員からは、路線バスと、町が行っている乗り合いタクシー、住民混乗式スクールバスの現状や今後の課題についての説明があった。予定されている路線廃止後の代替公共交通の確保や今後の町内地域公共交通のあり方については具体的な提案はなされなかったが、年度内に策定される「北竜町地域公共交通計画」に盛り込まれるという。

スクールバス（住民混乗も含む）や乗合タクシーについては経費面や委託も含めて効率良い運行が必要で、地域ごとの不公平感のないように、高齢者をはじめ地域住民の利用しやすい計画を望む。（松永毅）